

国際物理五輪代表 高校生5人が抱負

物理チャレンジ・オリンピック日本委員会は10日、7月にメキシコ・メリダ市で開催される第40回国際物理オリンピックに派遣する日本代表5人を決定した。国際物理オリンピックは1967年の第1回大会から現在まで毎年開催されており、日本は06年のシンガポール大会から参加している。昨年のベトナム大会では、金メダル1、銀メダル1、銅メダル1という好成績を収めている。

今回日本代表になったのは、慶應義塾大学高校3年の蘆田祐人さん、愛知県立旭丘高校3年の安藤孝志さん、岡山県立岡山朝日高校の難波博之さん、茨城県立水戸第一高校3年の東川翔さん、西南学院高校3年の

横田猛さん。

この5人は、昨年夏に行われた第4回全国物理コンテスト「物理チャレンジ2008」（応募者数769人）で優秀な成績を収めたため、日本代表候補として選拔され、昨秋からインターネットを利用した理論問題通信添削、近隣の大学等を会場にした実験実習指導、冬休みに行われた実験実習合宿研修、さらに春休みに行われた最終選考合宿を経て決定された。

蘆田さんは「しっかり体調を整えて、メキシコでおいしいものを食べながら、リラックスして試験に臨めれば」、安藤さんは「今までサポートしてくださった学校の先生、友達、スタッフの方々の期待に応えられるよう、上位入賞を目指して頑張りたい」、難波さんは「日本代表として恥ずかしくない成績を残せるよう全力で努力していきたい」、東川さんは「国際大会まで頑張っていけますのでご指導よろしくお願いします」、横田さんは「日本代表の一人に選ばれ、大きな喜びを感じています。国際大会ではメダル獲得を目標に、自分が持つ力のすべてを発揮したい。また世界中の物理好きと交流できることを楽しみにしています」とコメントしている。

日本代表は引き続き国際大会に向けたトレーニングに参加し、7月11日からの大会に備える。